

推進体系（案）

市および市民、事業者の協働による食のまちづくりの推進

【基本方向】

人が生きていく上で欠かすことのできない食物の安全性を確保するため、食を育む自然環境を保全するとともに、食文化を大切にする市民の意識の高揚を図り、一人ひとりが健康で安心して生活できるまちづくりを目指す。

食物、料理、うつわなどの産業に関わる人々が知恵を出し合い、協働、連携し、商業、農業、窯業、観光の振興を図り、本市の発展を目指す。

本市を訪れる人々が、食を通して楽しさと心の豊かさを味わい、忘れられない思い出をつくって、また来てみたいと思うまちづくりを目指す。

市民一人ひとりが、食の大切さを理解するため、教育・啓発に努めるとともに、食文化の伝統的価値と新たな価値の開発により、発展と活力のあるまちづくりを目指す。

食が市民の日常生活に深く関わるものであるという認識を深めるとともに、市および市民並びに事業者が食に関する学習と実践に努め、住んでいることを誇りに思える食のまちづくりを目指す。

【基本施策】

食材の種類、量および品質を確保するため農業の振興を図る。

伊万里市で生産・加工等を行ったものについて、食の付加価値を高めるために情報手段の高度化や窯業の振興など、産業活動の活性化を支援する。

産業界、学界、公的機関等との連携を深め、食に関する研究や資源の開発等に努める。

子どもたちを含め、市民一人ひとりが自らの食について考え、判断する能力を身につけるための食育に取り組む。

市民の「地産地消」の意識を高め、市民が、伊万里市の産業の振興のため、伊万里市で生産し、または加工された食その他の製品の利用に努めるよう有効な施策を講じる。

事業者が、食のまちづくりの目的を理解し、誇りを持って自らの事業の推進および発展に努めるよう、創意ある施策を講じる。